

# 第1号報告 1-1 平成28年度事業計画書

## 1. 会員

会員への各種情報提供機能の強化、協賛行事の拡大など会員サービスの向上をはかり、正会員・維持会員の増加に務める。

## 2. 会誌

学術雑誌としての性格を維持し、会員のオリジナルな研究論文・技術論文・総合論文の掲載に重点をおくが、会員にとっての親しみやすい会誌にするため、色材に関する先端技術から実用技術までを含めた平易な総説、解説、資料、講座、新製品、新技術紹介などを掲載し、会員の啓蒙、技術情報の提供を図る。

## 3. 行事

行事の予定は次のとおりである。

	行事名	開催日	開催地
本部	色材アドバンスセミナー2016 (東京)	未定	東京
	色材研究発表会	10月	大阪
	各研究会	未定	東京
関東支部	第25回顔料分散講座	2月	東京
	印刷インキ講座	5月	東京・大阪
	塗料講演会	5月	東京
	第57回塗料入門講座	6、7月	〃
	印刷インキアドバンス講座	10月	東京・大阪
	塗料アドバンス講座	11月	東京
	第41回顔料物性講座	11月	〃
第13回色材IT講座	12月	〃	
関西支部	色材マテリアル講座	2月	大阪
	色材セミナー	6月	〃
	色材分散講座	7月	〃
	第49回塗料基礎講座	8月	〃
	色材講演会	10月	〃
	見学会	11月	〃
中部支部	色材セミナー	3月	名古屋
	色材オブザベーション (見学会)	6月	未定
	色材分析講座	9月	名古屋
	第47回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	11月	豊橋
	色材アドバンスセミナー	12月	名古屋

#### 4. 委員会

(1)企画運営委員会	理事会の補佐機関として、将来計画を含む協会業務の全般的な企画、運営を図る。又この中の重点課題として、協会全体の財政面の改革を取り上げ、対策の立案・推進を行う。
(2)編集委員会	協会誌に掲載する研究、技術、総合の各論文、ノート、速報等の審査を行い、総説、解説、資料、連載講座、ニュース、サロン等の企画を行う。特に、論文審査を通じて学術雑誌としての水準を維持するとともに、特集や講座の充実を図り、魅力ある協会誌作りに尽力する。
(3)ホームページ委員会	ホームページ委員会活動を活発化し、会員にとって魅力ある内容への改訂と充実を図る。
(4)色材研究発表会 実行委員会	平成 28 年 10 月 13 日(木)、14 日(金)の 2 日間、大阪大学豊中キャンパスにて開催する。招待講演、茂木記念講演、特別記念講演、一般研究発表、ポスター発表、協会賞（技術賞、論文賞）授賞式、同受賞記念講演、懇親会などを行う。
(5)国際化委員会	海外、特にアジア地域の色材関連機関、団体等との交流を深め、研究発表会には海外からの招待講演者を招聘する。また、平成 29 年の 90 周年記念大会に向けての準備を進める。
(6)その他の委員会	必要に応じて、理事会の議決を経て各種委員会を設け、協会業務の円滑な運営を図る。

#### 5. 部会・研究会

(1) 顔料部会	関東、関西支部部会において、顔料に関する年間の行事と運営を行う。
(2) 塗料部会	関東、関西支部部会において、塗料に関する年間の行事と運営を行う。
(3) 印刷インキ部会	関東、関西支部部会において、印刷インキに関する年間の行事と運営を行う。
(4) インクジェット部会	関東支部において、インクジェットに関する年間の行事と運営を行う。
(5) 研究会 (i) 顔料物性研究会 (ii) 木材塗装研究会 (iii) 測色研究会 (iv) 印刷インキ技術研究会	顔料およびそれに関連する基礎研究について、研究会を開催する。 木材の塗装・塗料に関する技術向上と産業界発展のために研修会、分科会などの研究活動を実施する。 メタリック、パール等の測色、リン光、蛍光等について研究会を行う。 印刷インキとその関連材料に関する技術全般の調査、研究について、研究会を開催する。

#### 6. その他

(1) 公益法人としての取組み	平成 25 年度に公益法人の手続きが完了し、平成 28 年度も引き続き非営利型一般社団法人として活動を続けて行く。
-----------------	---